

平成20年度

コミュニティバス等（町内循環バス等）導入に関するアンケート調査 クロス集計結果

《コミュニティバスの導入効果を持続させるための地域ニーズの分析》

平成21年1月

七飯町地域公共交通活性化協議会事務局

現在、七飯町は、地区によって公共交通の利便性に差はあるものの、既往の公共交通(函館バス・JR)がある程度確保されており、一方で自動車依存率が非常に高い町である。近い将来、既存路線バスや鉄道等の廃止による公共交通サービスの低下など、深刻な課題や問題点が明確化されていない現状において、コミュニティバス等の新たな公共交通サービスを導入するには、経済面における負担を十分に考慮し、導入時期や導入規模などを慎重に進める必要がある。

こうした現状において、コミュニティバスを導入し、その導入効果を維持するためには、これまで以上に公共交通利用の促進・増大を確保しなければならないと考えられる。よって、以下に示す4つの地域ニーズが必要と考えられるため、アンケート調査の詳細分析(クロス集計)を行った。

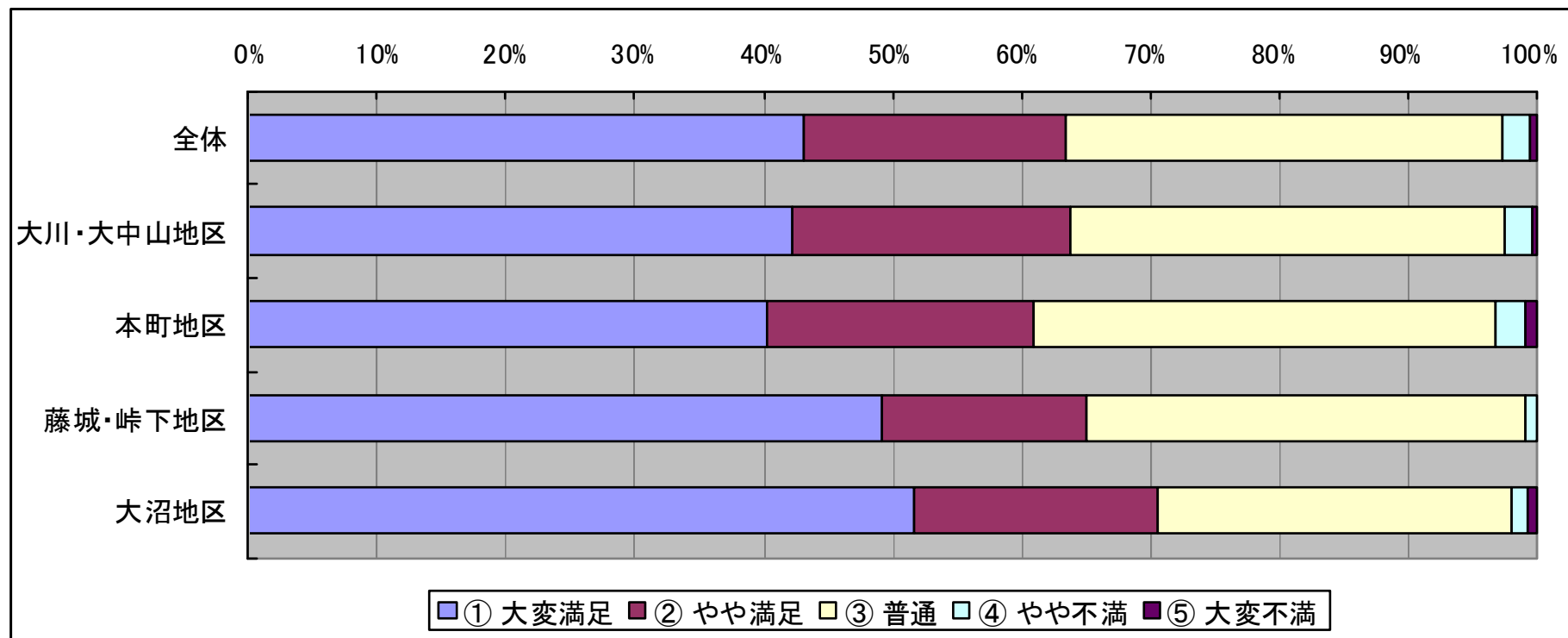
※現在利用している交通手段ごとに分析。

- ①自動車利用者(自ら運転)の公共交通への転換を促進
- ②公共交通利用者の更なる利用促進と満足度の向上
- ③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換を促進
- ④若年層(20代~40代)の意識向上と経済的支援が必要

①自動車利用者(自ら運転)の公共交通への転換を促進

●日常生活で自動車(自ら運転)を利用している(1351人)を対象とした詳細分析

1) 自動車利用者の満足度はどうか?・・・十分満足している

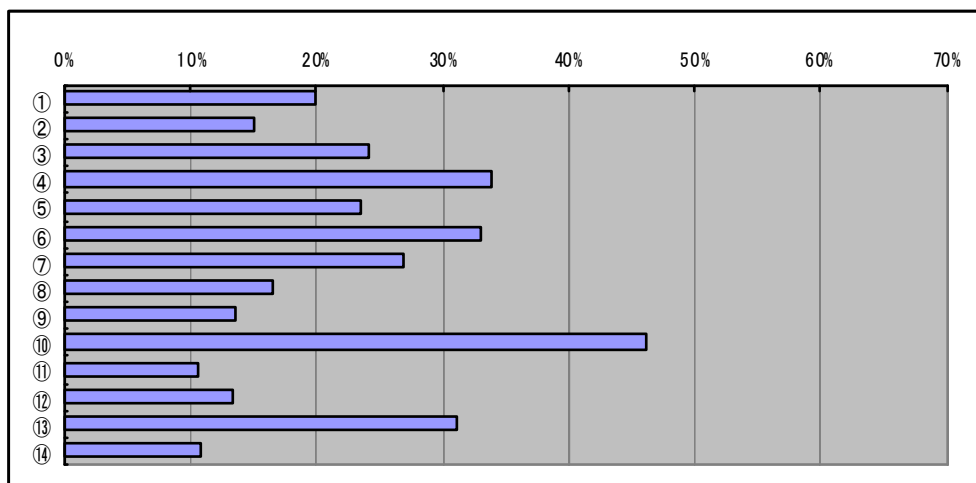


①自動車利用者(自ら運転)の公共交通への転換を促進

●日常生活で自動車(自ら運転)を利用している方(1351人)を対象とした詳細分析

2) 公共交通への転換に対する意識はどうか? . . . 転換に対する意識は低い

全体



- ① 自動車（バイク含む）の運転を経済的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。
- ② 自動車（バイク含む）の運転を体力的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。
- ③ 自分で自由に使える自動車（バイク含む）があれば、自分自身で運転して移動したい。
- ④ 目的によっては公共交通を利用したいと思っている。
- ⑤ 自宅から最寄りの駅やバス停までの距離が遠く、公共交通（JRや函館バス）の利用が不便である。
- ⑥ 現在の公共交通（JRや函館バス）では便数が足りないため不便である。
- ⑦ 現在の公共交通（JRや函館バス）では利用したい時間帯に運行便がないため不便である。
- ⑧ 現在の公共交通（JRや函館バス）では接続がスムーズでないため不便である。
- ⑨ 現在の公共交通（JRや函館バス）では経済的負担が大きく不便である。
- ⑩ タクシーでの移動は、経済的負担が大きく不便である。
- ⑪ タクシーでの移動は、移動距離が短いため、頼みづらいときがある。
- ⑫ 自転車や徒歩での移動は体力的に困難であり、不便である。
- ⑬ 荒天時や冬期間の移動が不便（不安）である。
- ⑭ その他

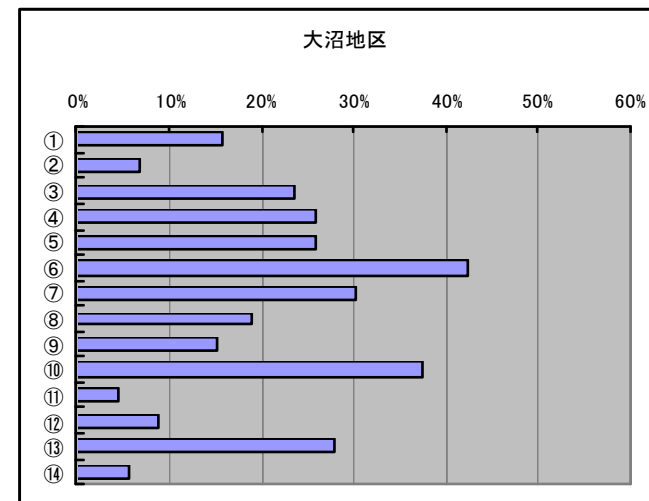
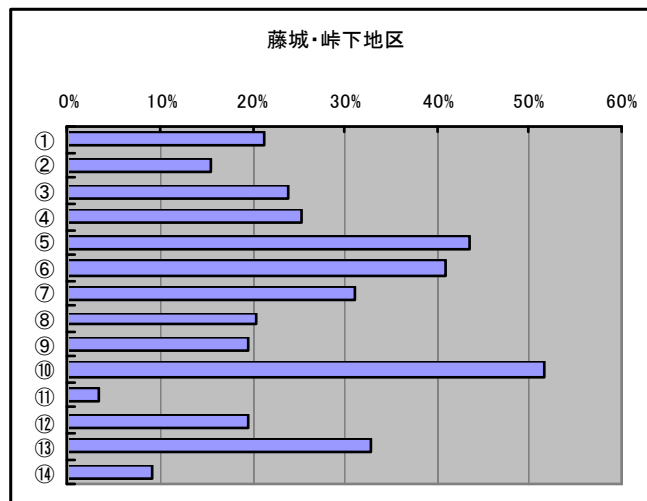
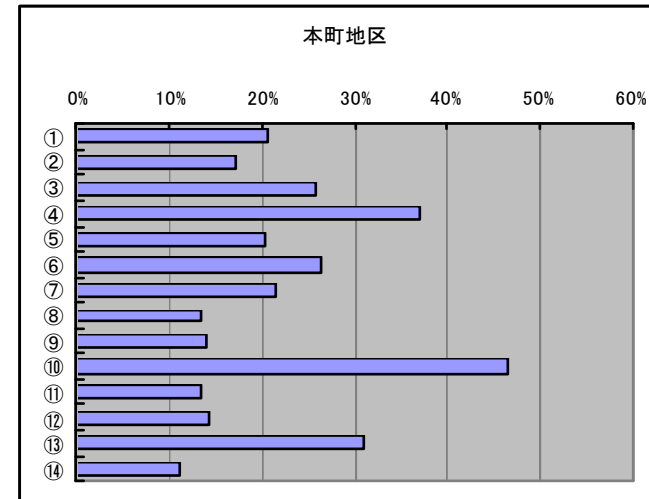
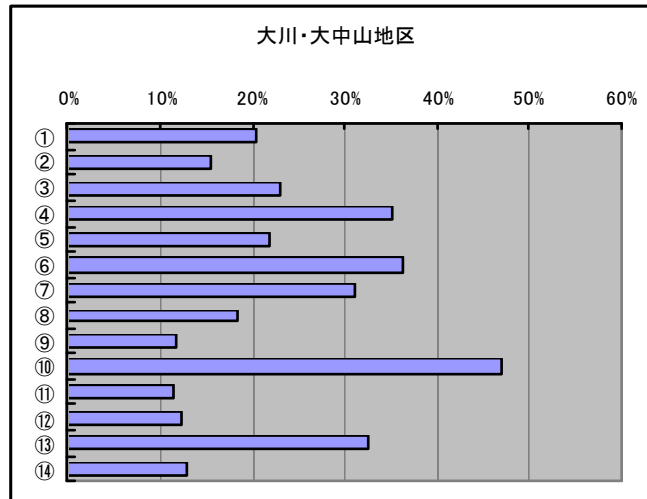
①自動車利用者(自ら運転)の公共交通への転換を促進

●日常生活で自動車(自ら運転)を利用している方(1351人)を対象とした詳細分析

2) 公共交通への転換に対する意識はどうか？

・・・大沼地区は、他の地区より意識が低い

地区別

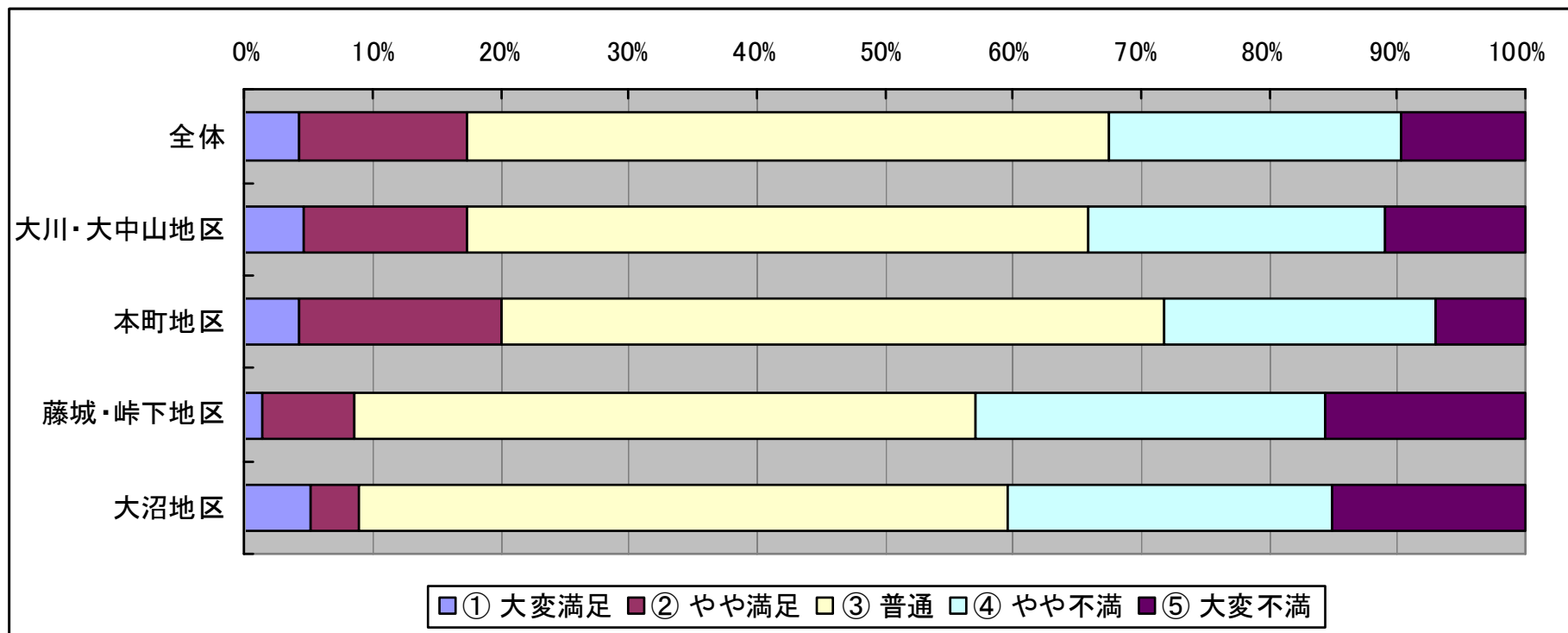


②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

1) 公共交通利用者の満足度はどうか？

・・・満足度はある程度満たされている



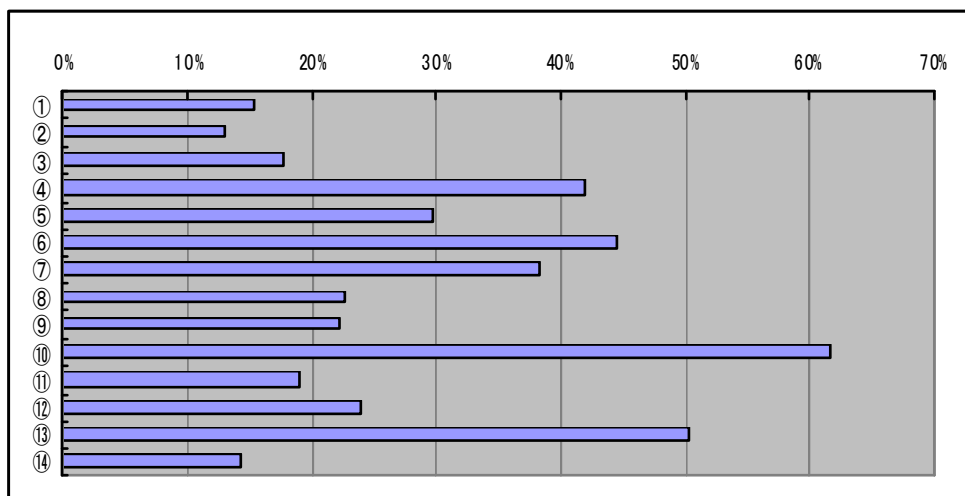
②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

2) 不満の理由はどこにあるのか？

・・・便数不足、時間帯の不一致に対する不満が高い

全体



①	自動車（バイク含む）の運転を経済的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。
②	自動車（バイク含む）の運転を体力的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。
③	自分で自由に使える自動車（バイク含む）があれば、自分自身で運転して移動したい。
④	目的によっては公共交通を利用したいと思っている。
⑤	自宅から最寄りの駅やバス停までの距離が遠く、公共交通（JRや函館バス）の利用が不便である。
⑥	現在の公共交通（JRや函館バス）では便数が足りないため不便である。
⑦	現在の公共交通（JRや函館バス）では利用したい時間帯に運行便がないため不便である。
⑧	現在の公共交通（JRや函館バス）では接続がスムーズでないため不便である。
⑨	現在の公共交通（JRや函館バス）では経済的負担が大きく不便である。
⑩	タクシーでの移動は、経済的負担が大きく不便である。
⑪	タクシーでの移動は、移動距離が短いため、頼みづらいときがある。
⑫	自転車や徒歩での移動は体力的に困難であり、不便である。
⑬	荒天時や冬期間の移動が不便（不安）である。
⑭	その他

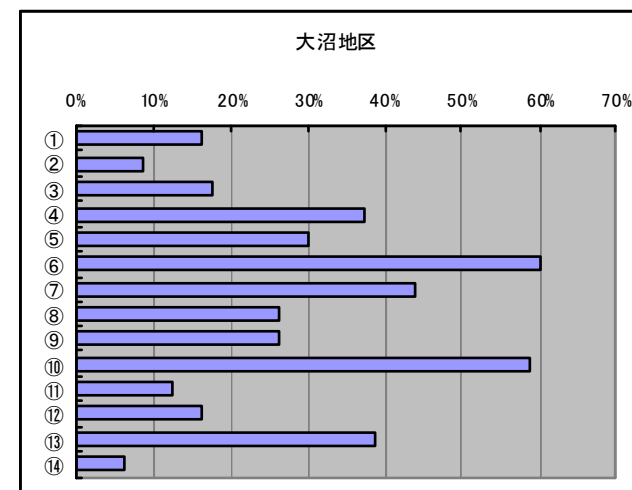
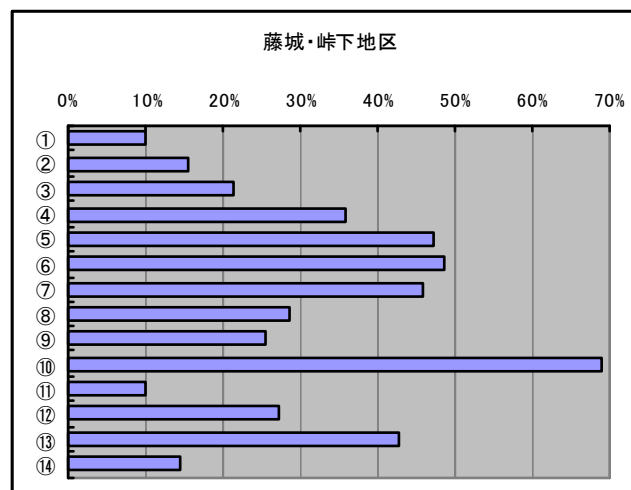
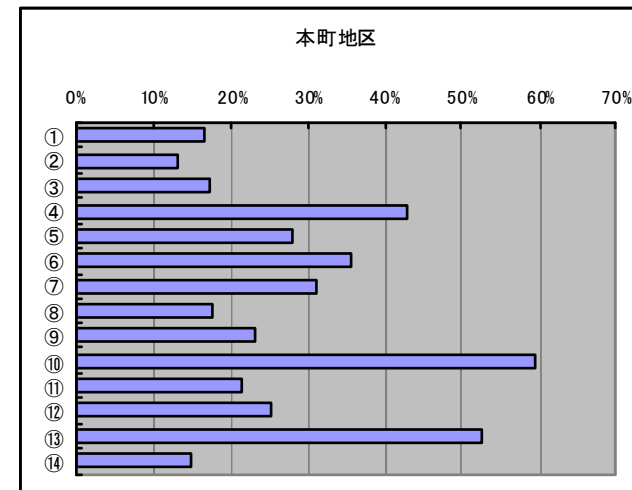
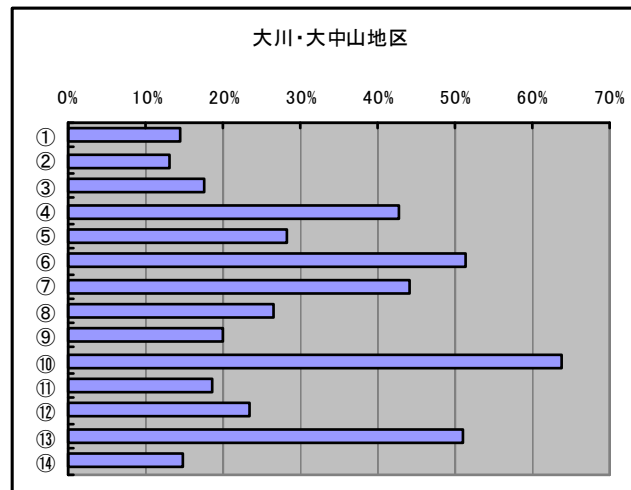
②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

2) 不満の理由はどこにあるのか？

・・・大沼地区は、他の地区より便数不足を強く感じている

地区別



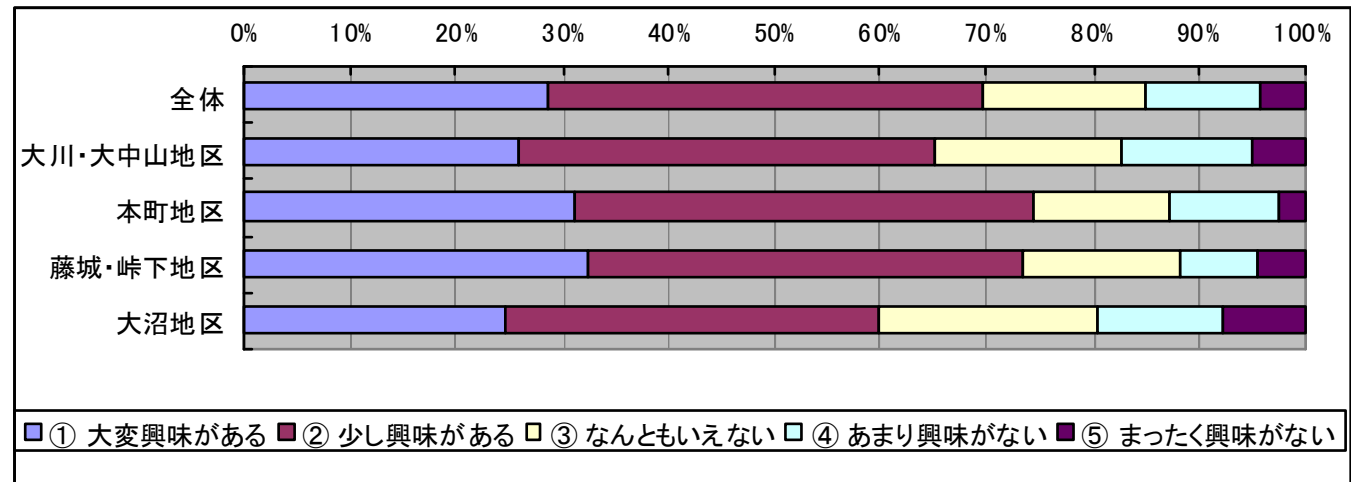
②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

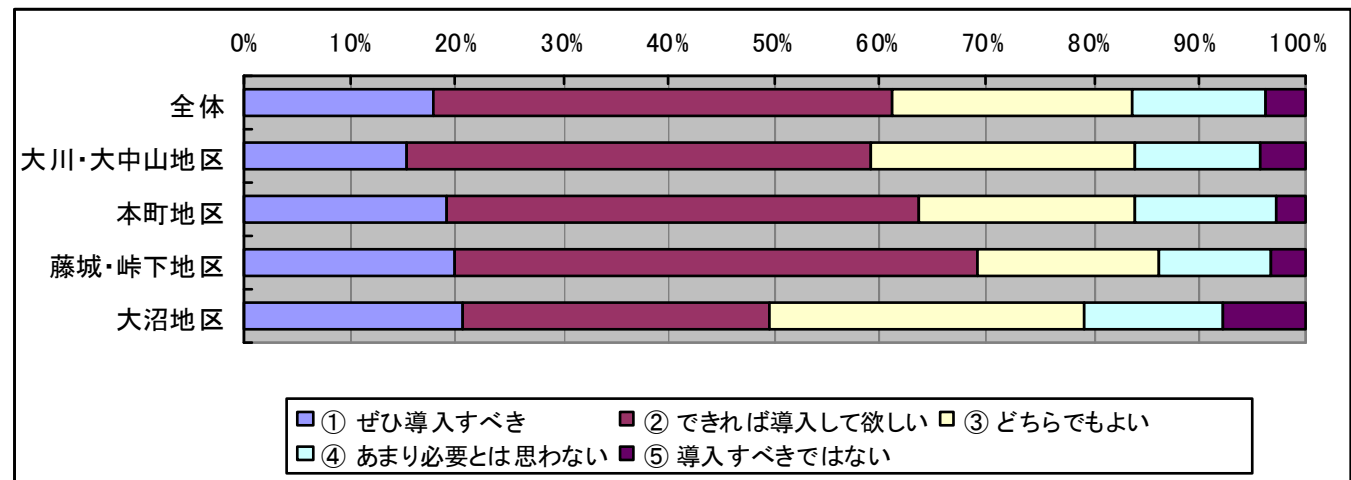
3) 導入に対する支持はどうか？

・・・ **7割が興味を示し、6割強は導入に前向き**

●興味と関心について



●導入について

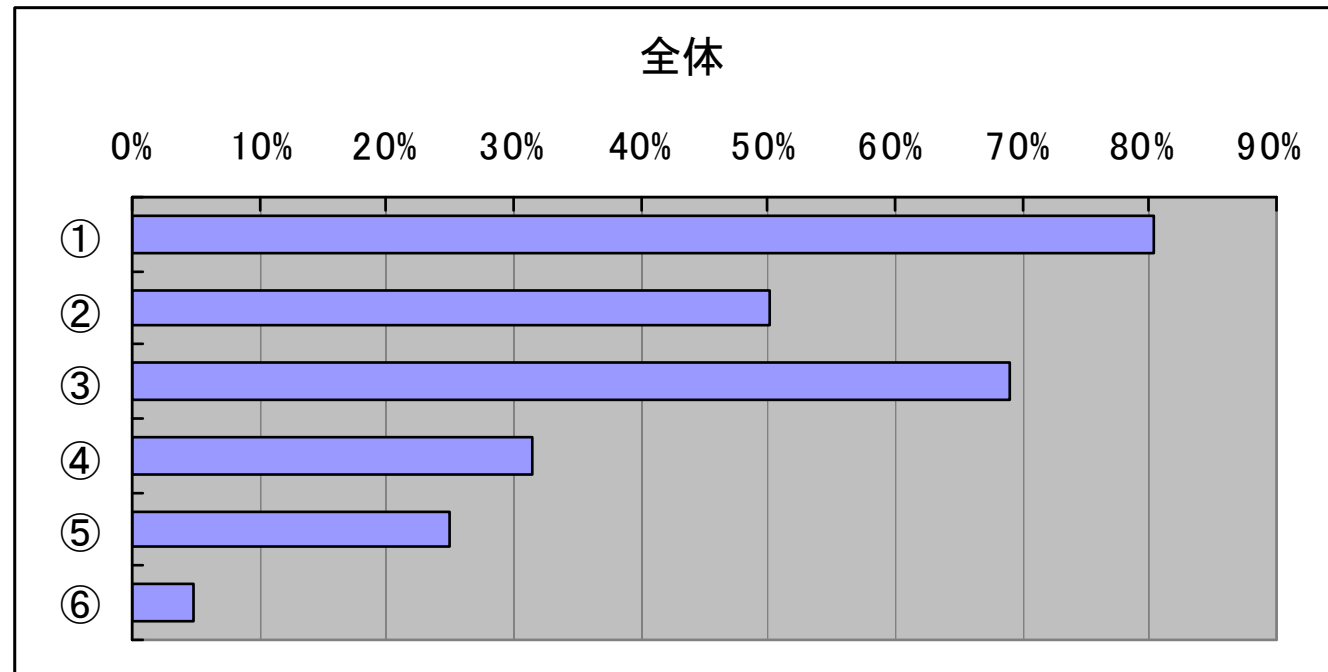


②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

4) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・自身が利用したいとする方が8割、地域にとっても必要



- | |
|-------------------------------------|
| ① 自分自身が利用したいから(将来利用したいも含む) |
| ② 現在の公共交通(JRや函館バス)では不便を感じるから |
| ③ 地域の将来を考えると必要な交通手段だから |
| ④ 必要としている家族がいるから |
| ⑤ 自動車運転免許がないから
(免許を取得する予定がないも含む) |
| ⑥ その他 |

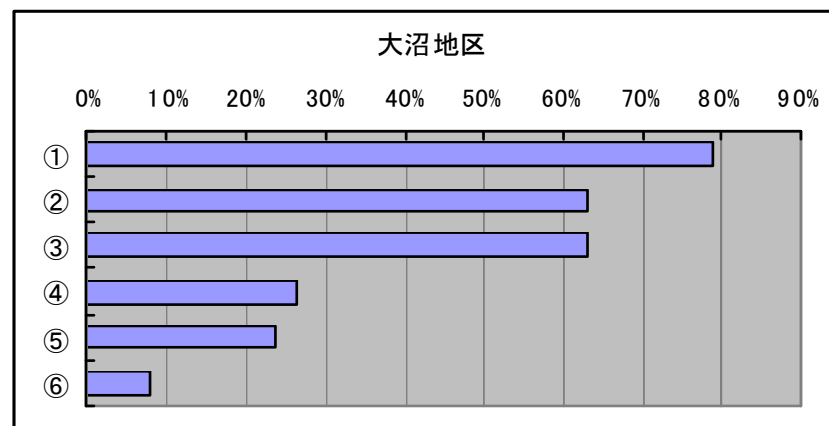
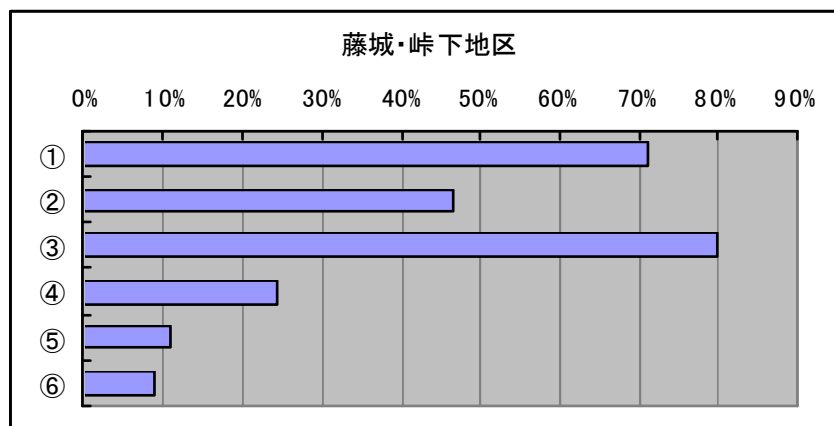
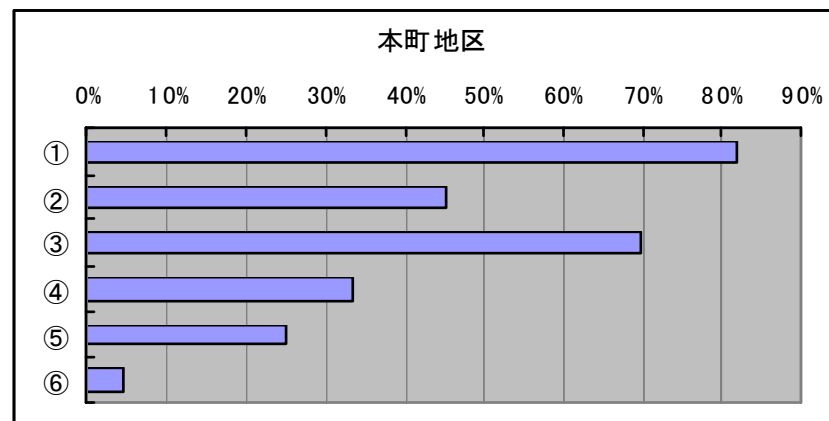
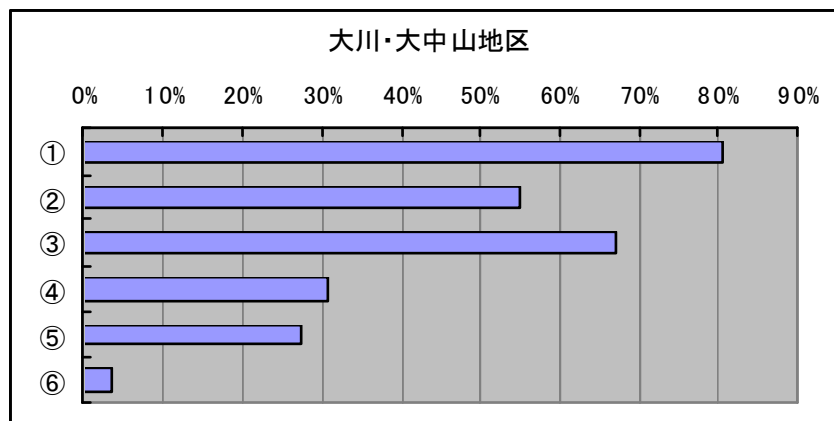
②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

4) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・どの地区も支持率が高く、格差は見られない。

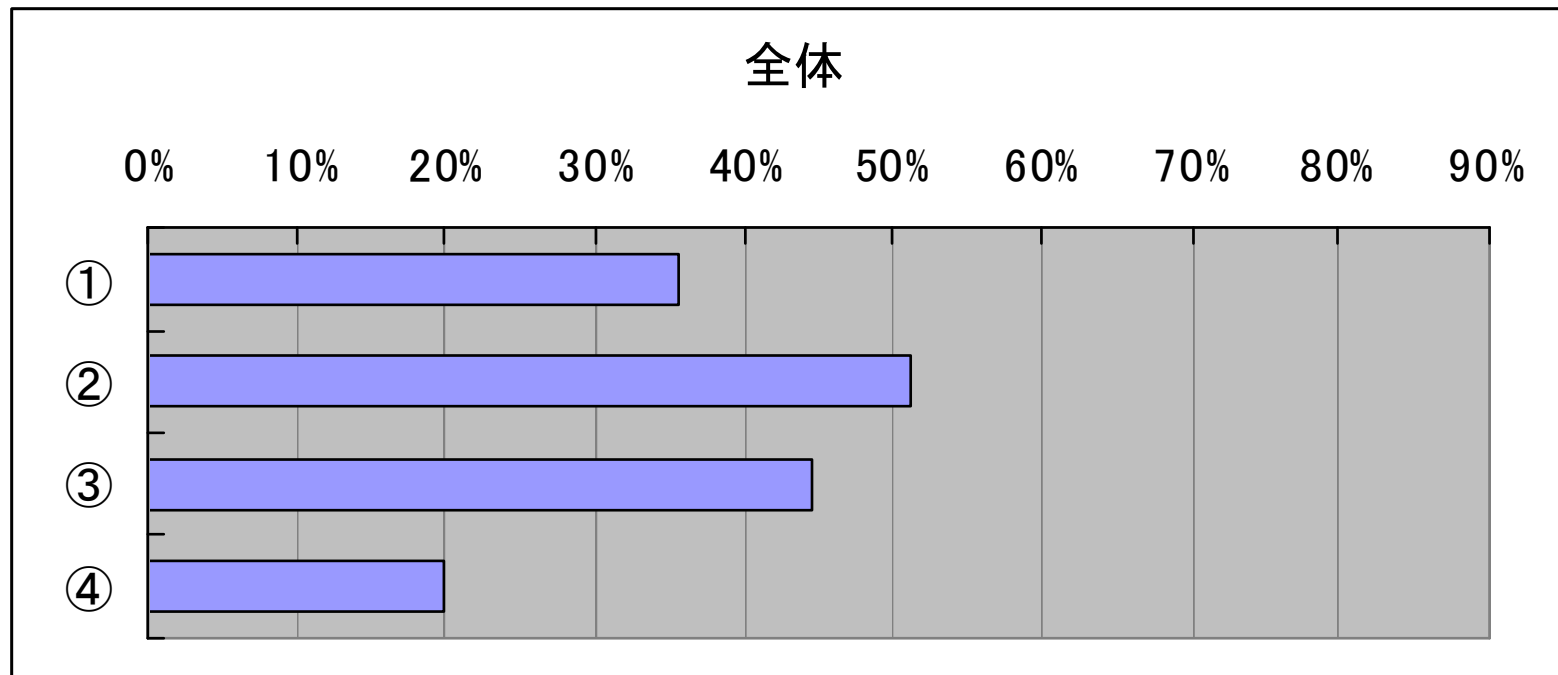
地区別



②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

- 4) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない)の理由は？
・・・自分自身が利用しないと答え方は低い。



- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① | 自分自身が利用しないから
(将来においても利用するつもりはない) |
| ② | 現在の公共交通(JRや函館バス)で十分だと思うから |
| ③ | 地域の将来にとって必要な交通手段だとは思わない |
| ④ | その他 |

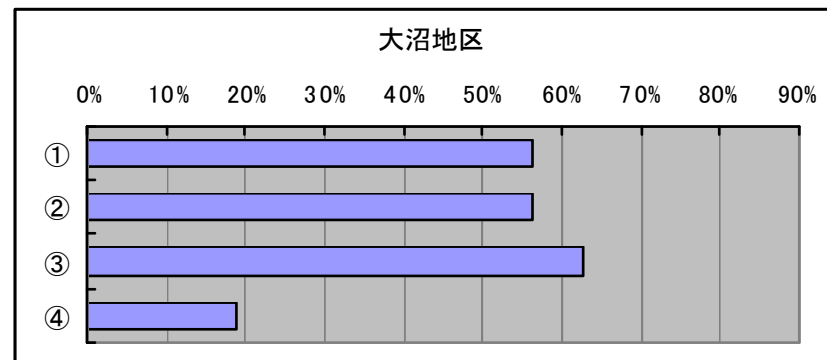
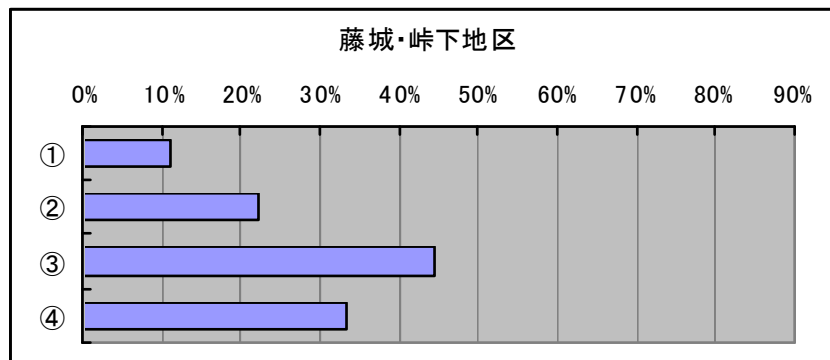
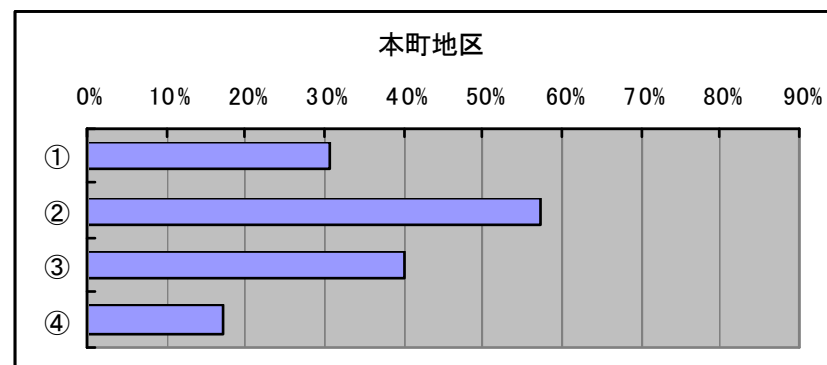
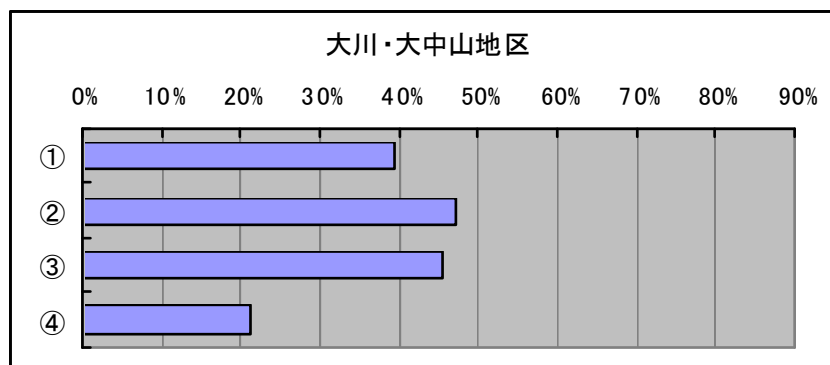
②公共交通利用者の更なる利用促進と満足感の向上

●日常生活で公共交通(函館バス・JR)を利用している(1057人)を対象とした詳細分析

4) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない)の理由は?

- ・・・大沼地区 **自分自身が利用しないと答え方は高め。**
- 藤城・峠下地区 **自分自身が利用しないと答え方は低い。**

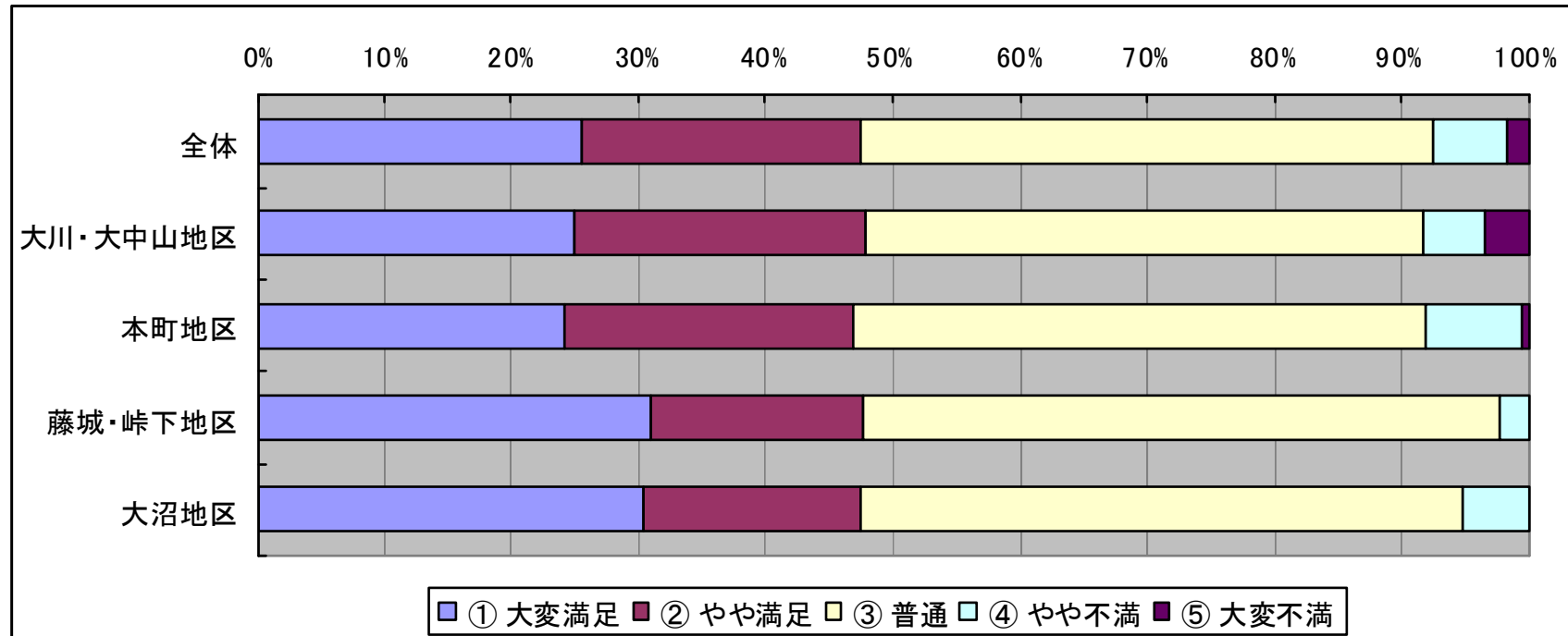
地区別



③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

1) 公共交通利用者の満足度はどうか? . . . 十分満足している

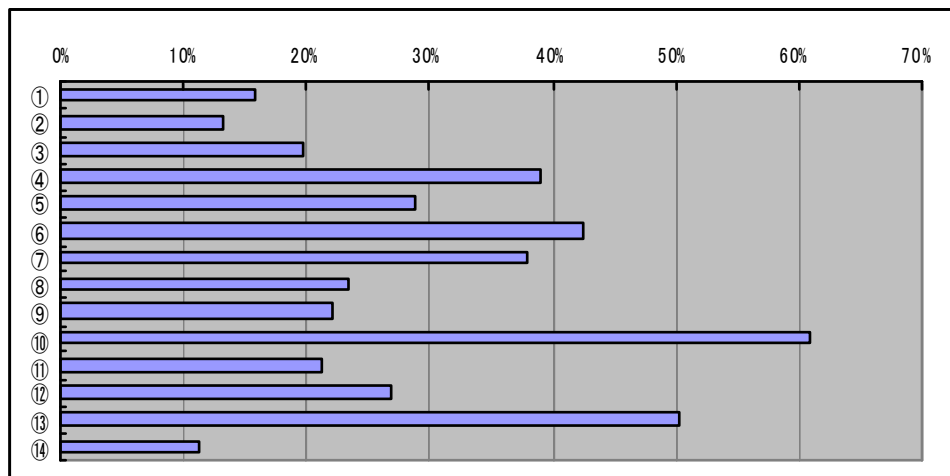


③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

2) 公共交通への転換に対する意識はどうか?・・・目的によっては利用 したい方が4割弱

全 体



- | | |
|---|---|
| ① | 自動車（バイク含む）の運転を経済的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。 |
| ② | 自動車（バイク含む）の運転を体力的な理由から控えたい、またはやめたいと思っている。 |
| ③ | 自分で自由に使える自動車（バイク含む）があれば、自身で運転して移動したい。 |
| ④ | 目的によっては公共交通を利用したいと思っている。 |
| ⑤ | 自宅から最寄りの駅やバス停までの距離が遠く、公共交通（JRや函館バス）の利用が不便である。 |
| ⑥ | 現在の公共交通（JRや函館バス）では便数が足りないため不便である。 |
| ⑦ | 現在の公共交通（JRや函館バス）では利用したい時間帯に運行便がないため不便である。 |
| ⑧ | 現在の公共交通（JRや函館バス）では接続がスムーズでないため不便である。 |
| ⑨ | 現在の公共交通（JRや函館バス）では経済的負担が大きく不便である。 |
| ⑩ | タクシーでの移動は、経済的負担が大きく不便である。 |
| ⑪ | タクシーでの移動は、移動距離が短いため、頼みづらいときがある。 |
| ⑫ | 自転車や徒歩での移動は体力的に困難であり、不便である。 |
| ⑬ | 荒天時や冬期間の移動が不便（不安）である。 |
| ⑭ | その他 |

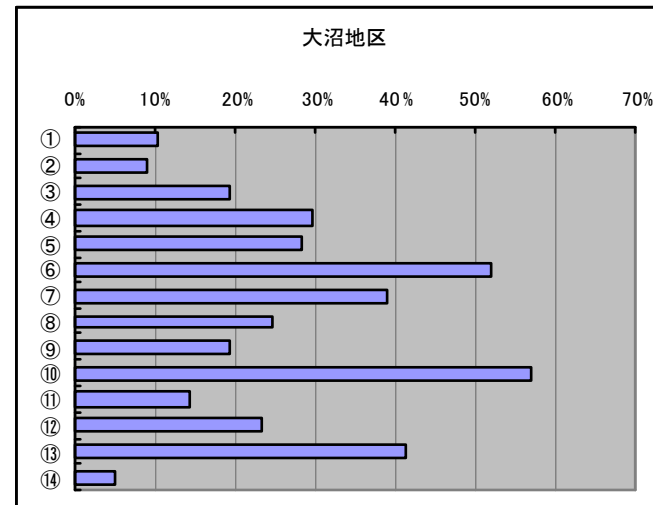
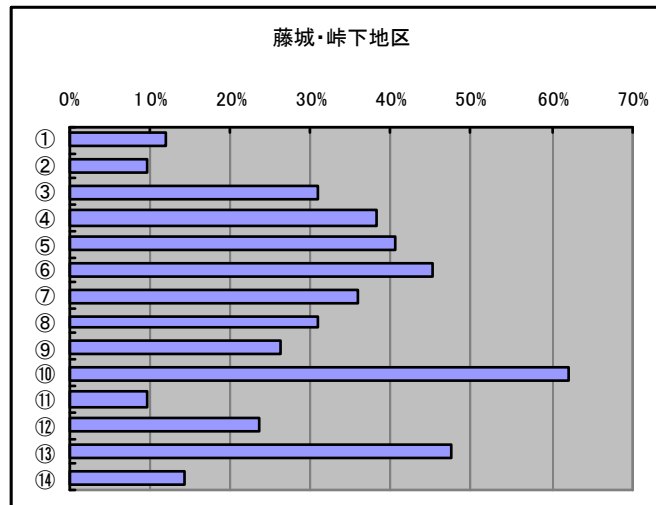
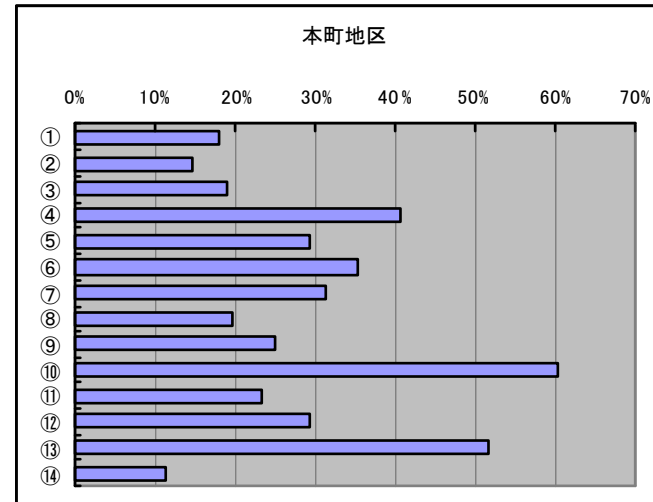
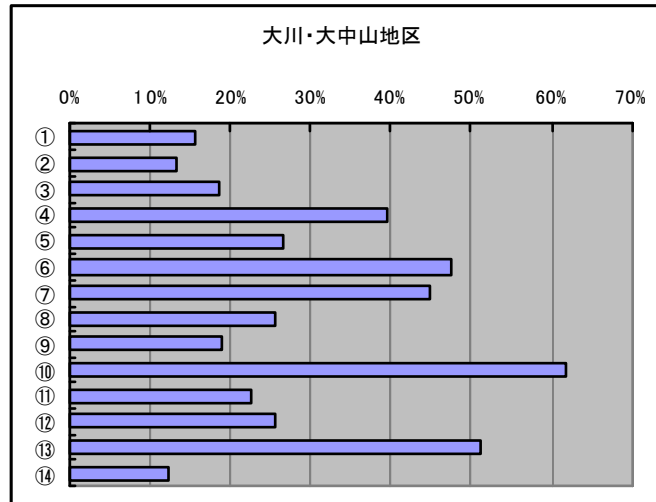
③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

2) 公共交通への転換に対する意識はどうか？

・・・大川・大中山地区、本町地区の方が利用ニーズが高い。

地区別



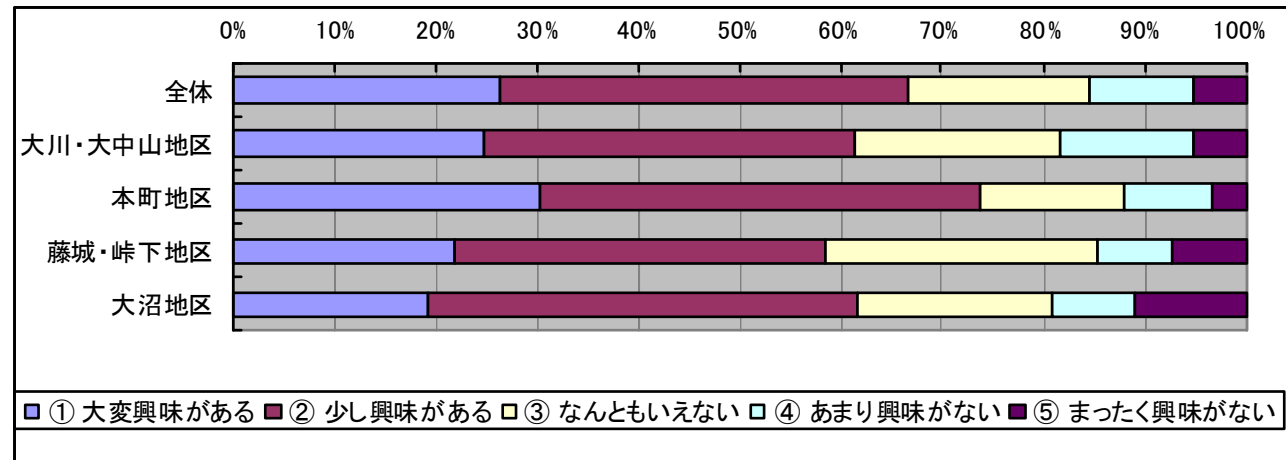
③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

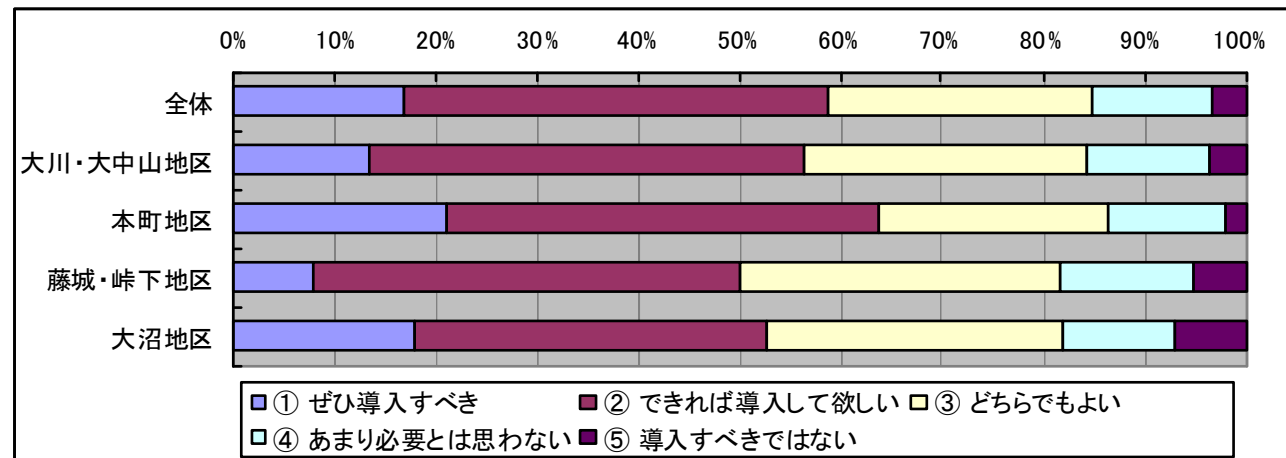
3) 導入に対する支持はどうか？

・・・ **6.5割が興味を示し、6割弱は導入に前向き**

●興味と関心について



●導入について

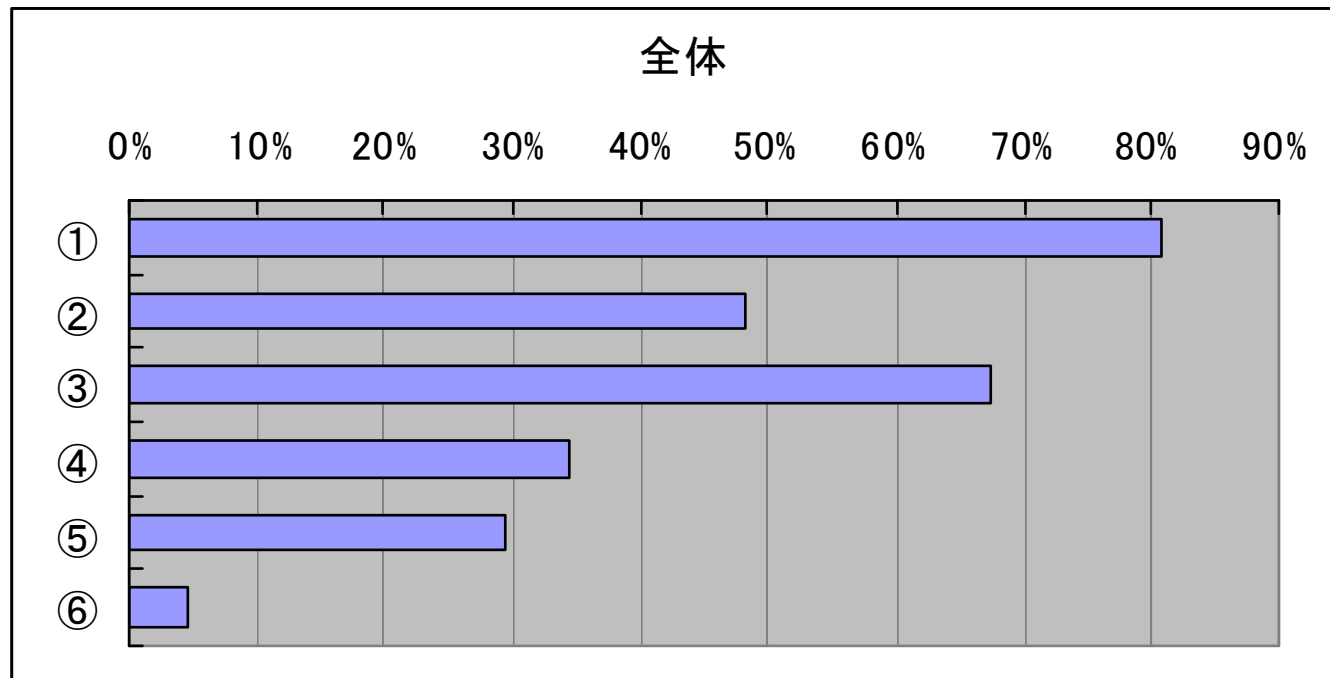


③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

4) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・ **自身が利用したいとする方が8割強、地域にとっても必要**



- | |
|-------------------------------------|
| ① 自分自身が利用したいから(将来利用したいも含む) |
| ② 現在の公共交通(JRや函館バス)では不便を感じるから |
| ③ 地域の将来を考えると必要な交通手段だから |
| ④ 必要としている家族がいるから |
| ⑤ 自動車運転免許がないから
(免許を取得する予定がないも含む) |
| ⑥ その他 |

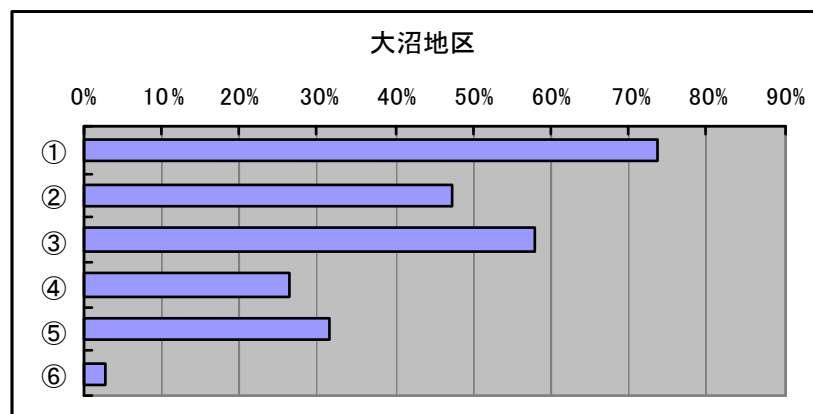
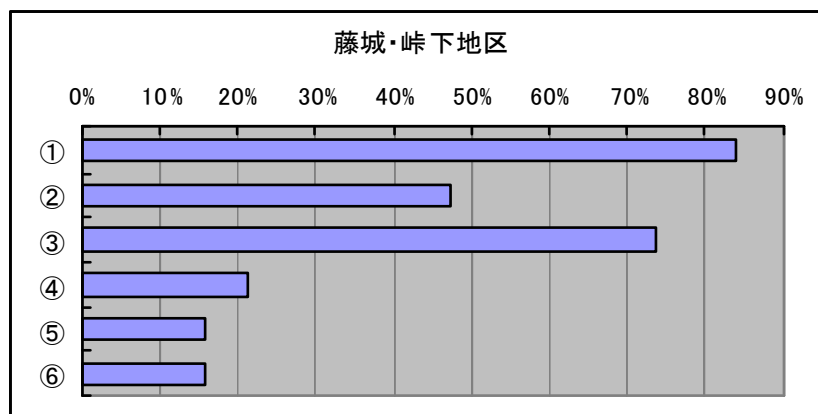
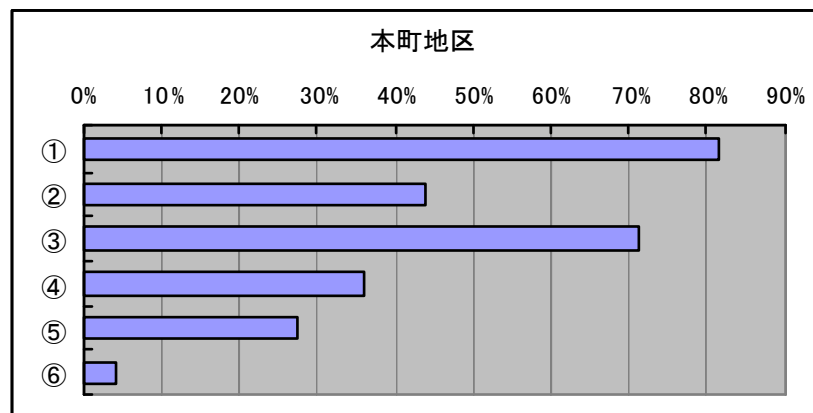
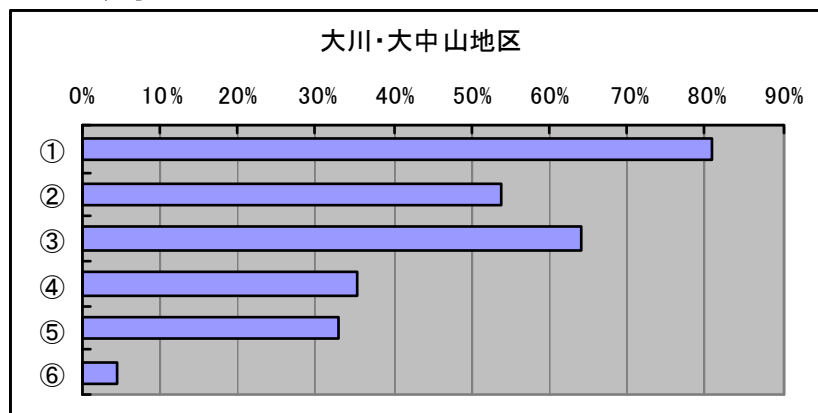
③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

4) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・どの地区も支持率が高く、格差は見られない。

地区別

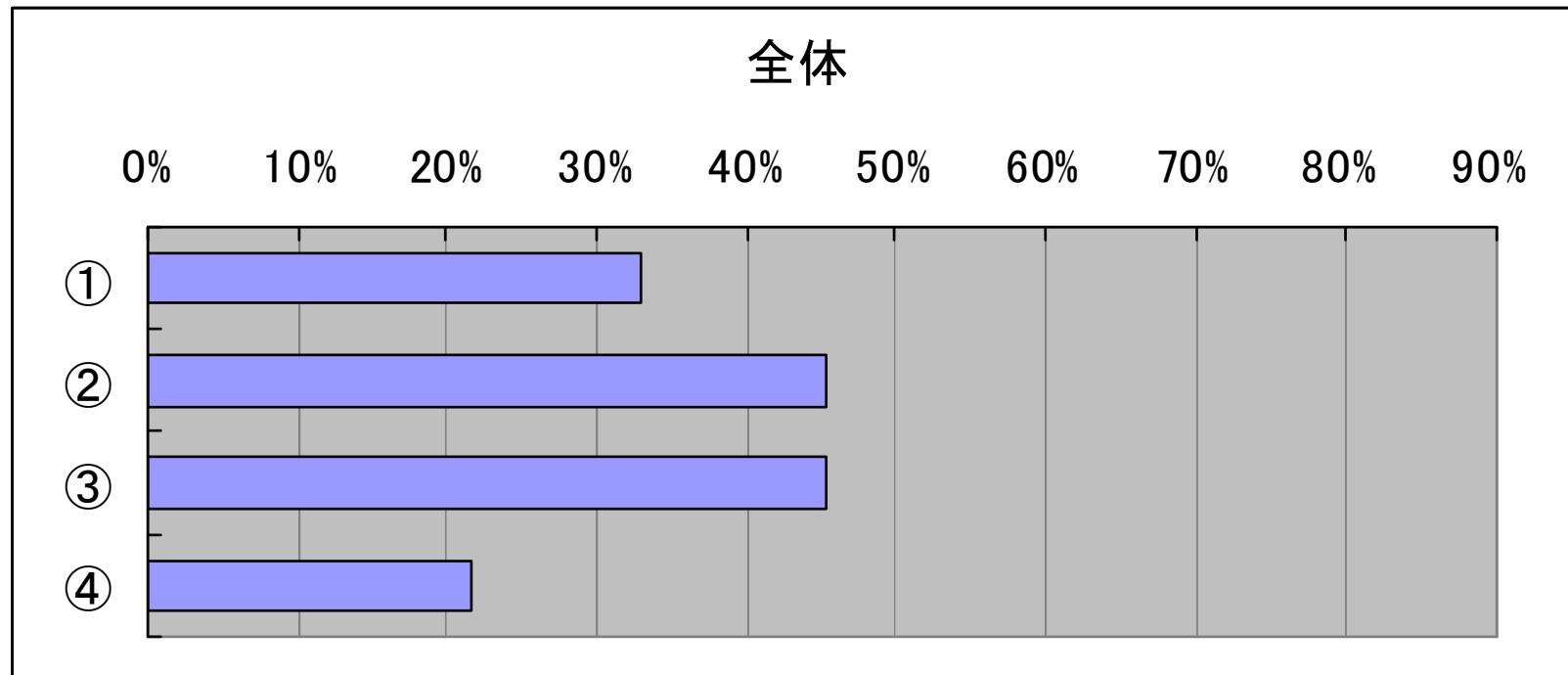


③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

4) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない) の理由は？

・・・自分自身が利用しないと答え方は低い。



- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① | 自分自身が利用しないから
(将来においても利用するつもりはない) |
| ② | 現在の公共交通(JRや函館バス)で十分だと思うから |
| ③ | 地域の将来にとって必要な交通手段だとは思わない |
| ④ | その他 |

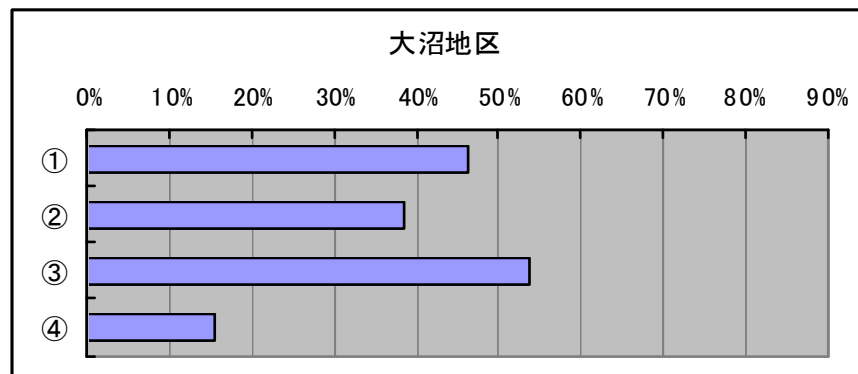
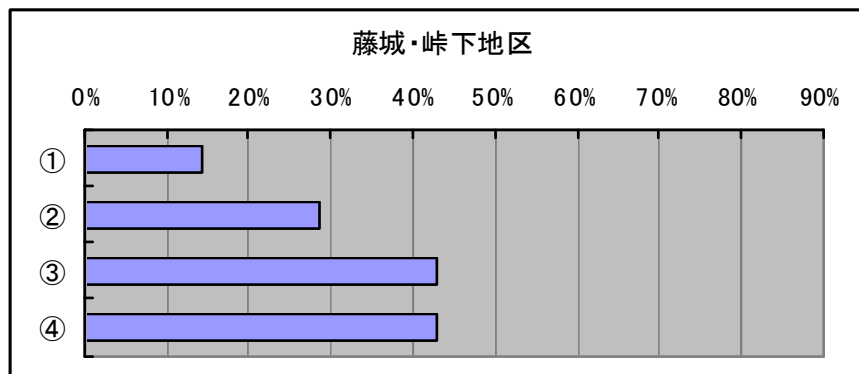
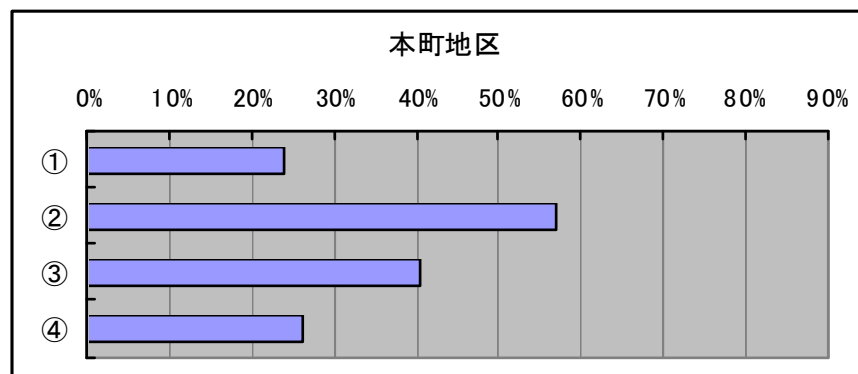
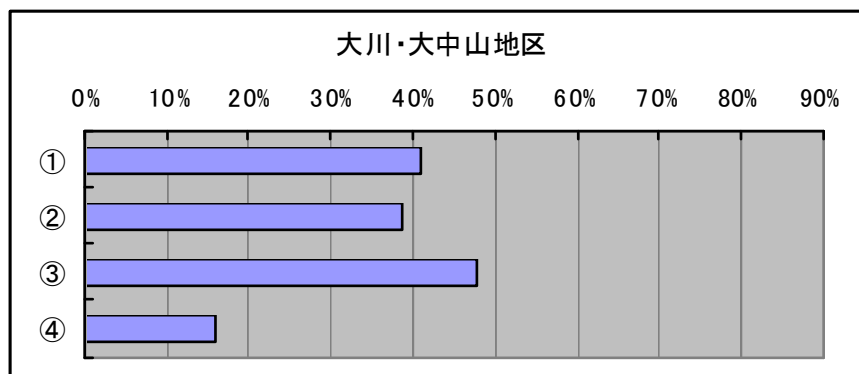
③自動車で送迎を受けている方の公共交通への転換促進

●日常生活で送迎を受けている(721人)を対象とした詳細分析

4) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない)の理由は？

- ・・・大沼地区 **自分自身が利用しないと答え方は高め。**
- 藤城・峠下地区 **自分自身が利用しないと答え方は低い。**

地区別



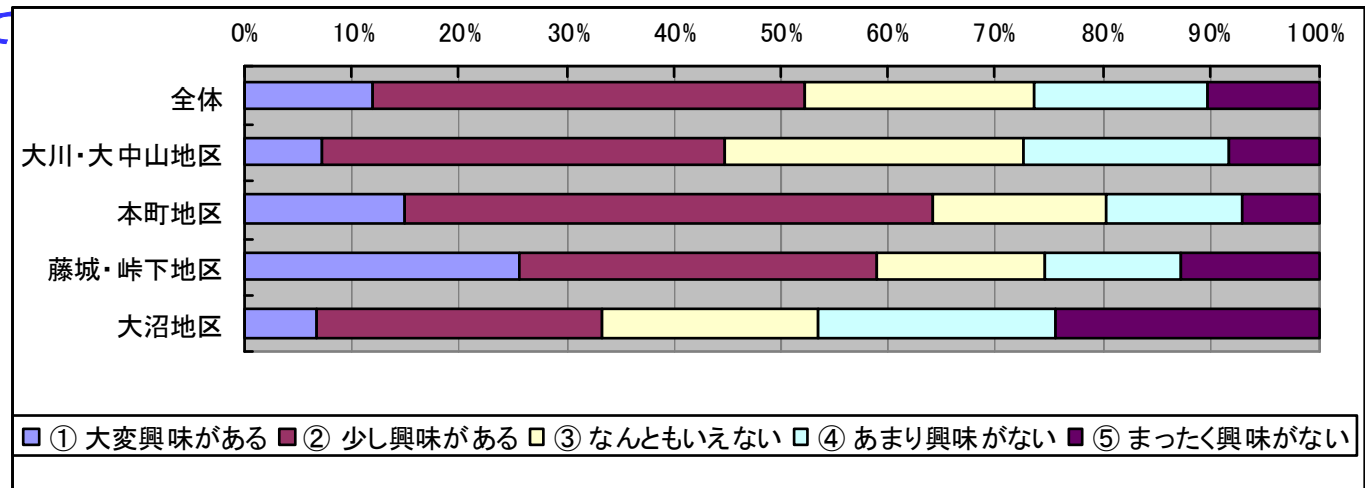
④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

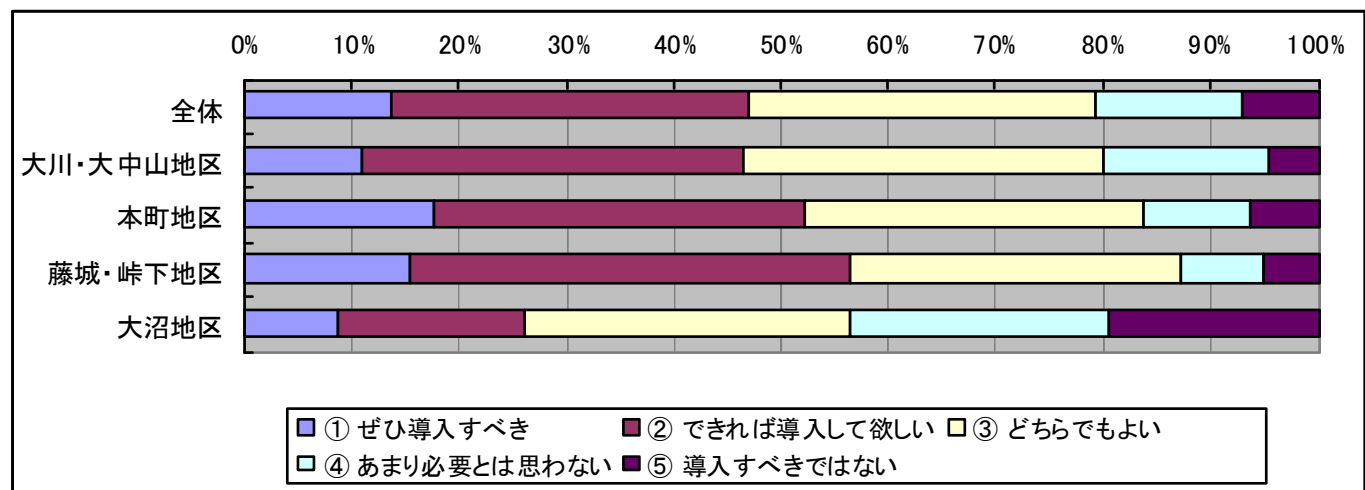
1) 導入に対する支持はどうか？

・・・5割強が興味を示し、賛成する方は5割弱
大沼地区だけは、反対派が多い。

●興味と関心について



●導入について

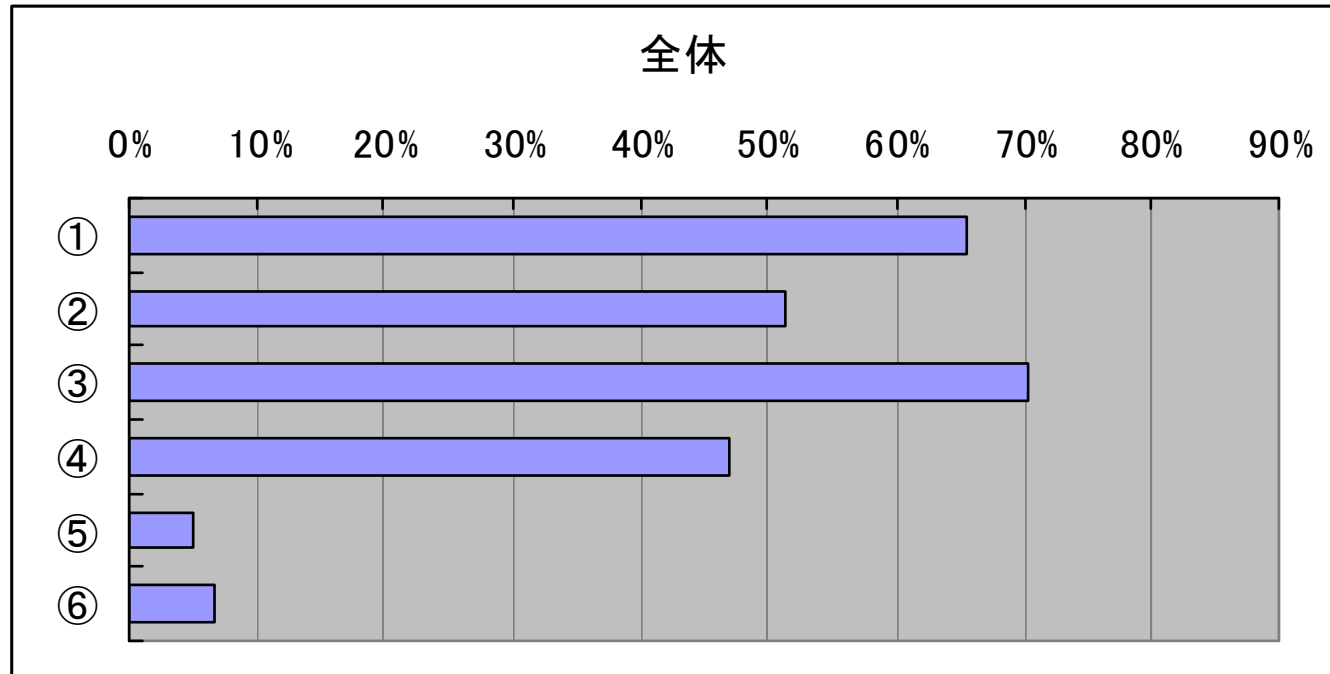


④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

2) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・自身が利用したいとする方が6.5割、地域にとっても必要



- | |
|-------------------------------------|
| ① 自分自身が利用したいから(将来利用したいも含む) |
| ② 現在の公共交通(JRや函館バス)では不便を感じるから |
| ③ 地域の将来を考えると必要な交通手段だから |
| ④ 必要としている家族がいるから |
| ⑤ 自動車運転免許がないから
(免許を取得する予定がないも含む) |
| ⑥ その他 |

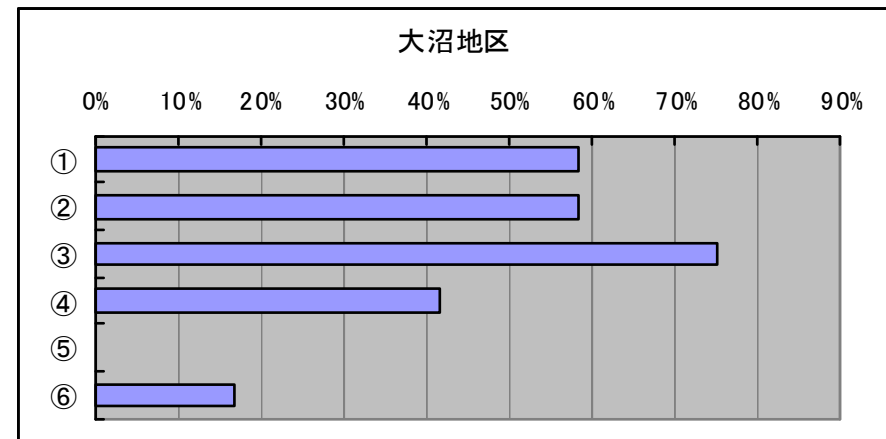
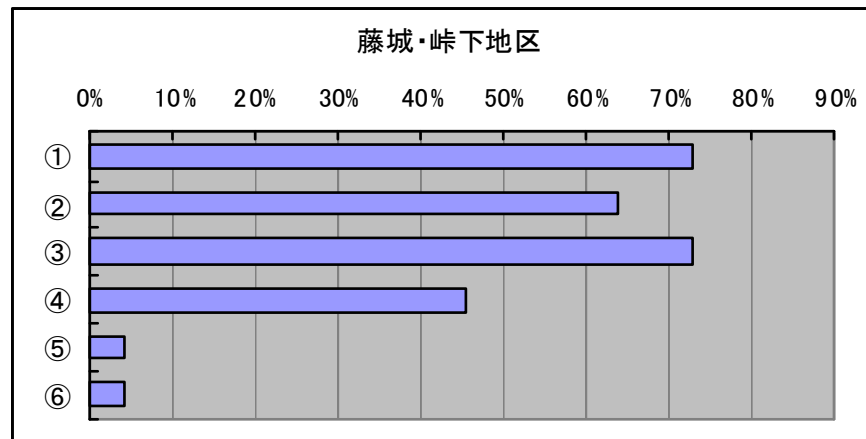
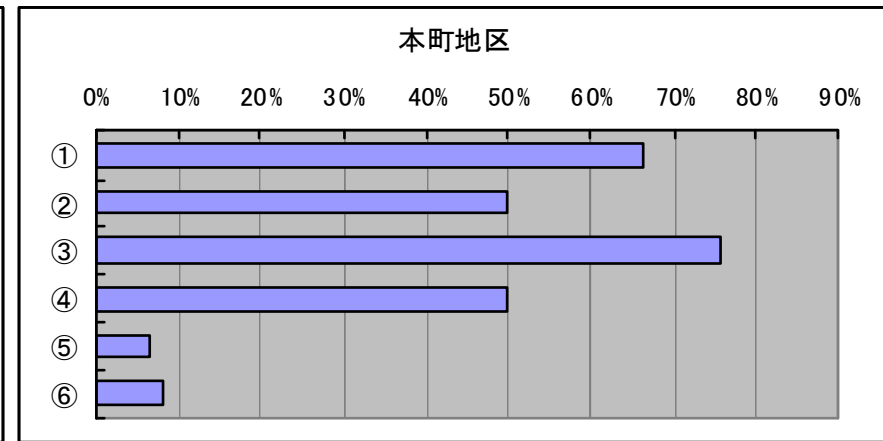
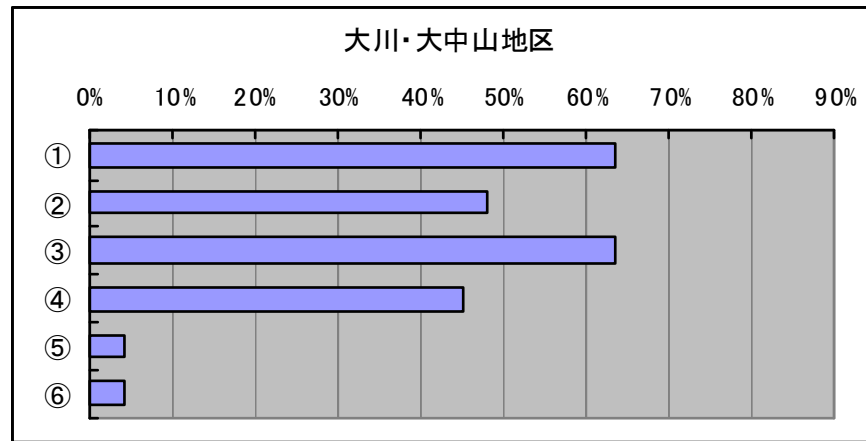
④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

2) 支持(ぜひ導入、導入して欲しい方)の理由は？

・・・どの地区も支持率が高く、格差は見られない。

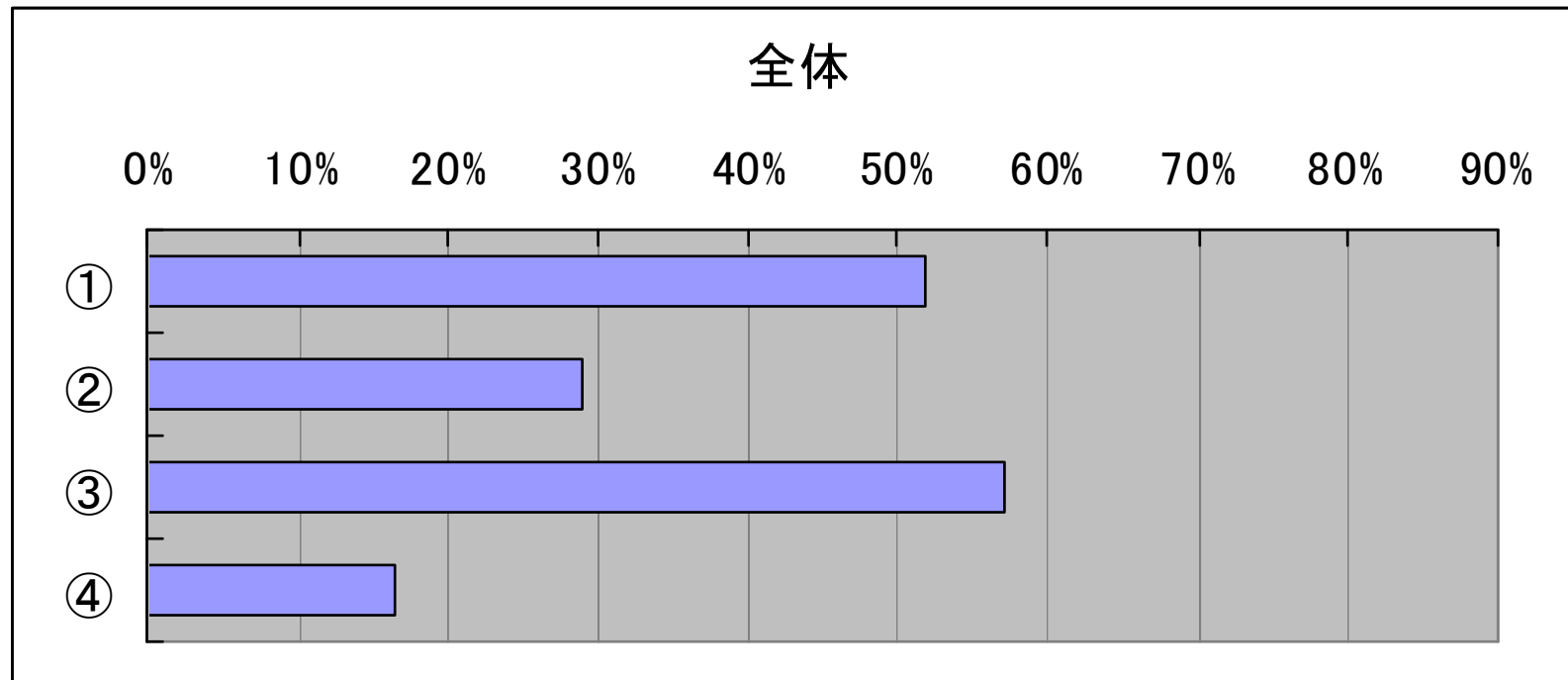
地区別



④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

- 3) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない)の理由は？
・・・自分自身が利用しないと答え方が5割強。



- | |
|---------------------------------------|
| ① 自分自身が利用しないから
(将来においても利用するつもりはない) |
| ② 現在の公共交通(JRや函館バス)で十分だと思うから |
| ③ 地域の将来にとって必要な交通手段だとは思わない |
| ④ その他 |

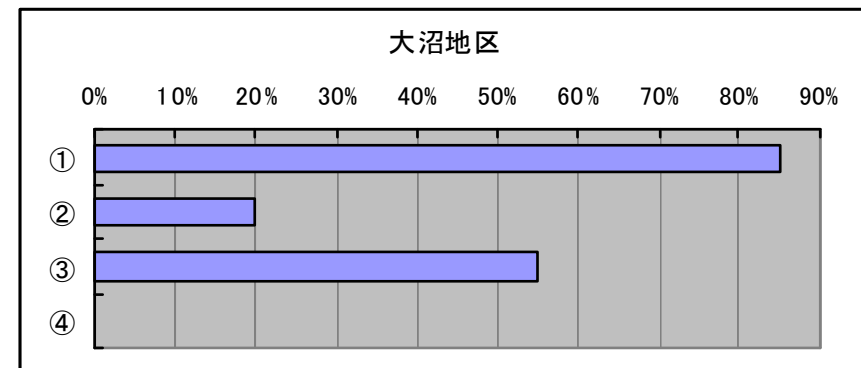
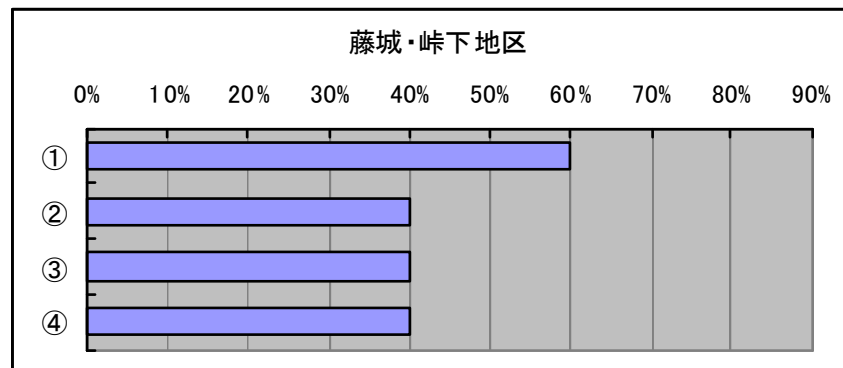
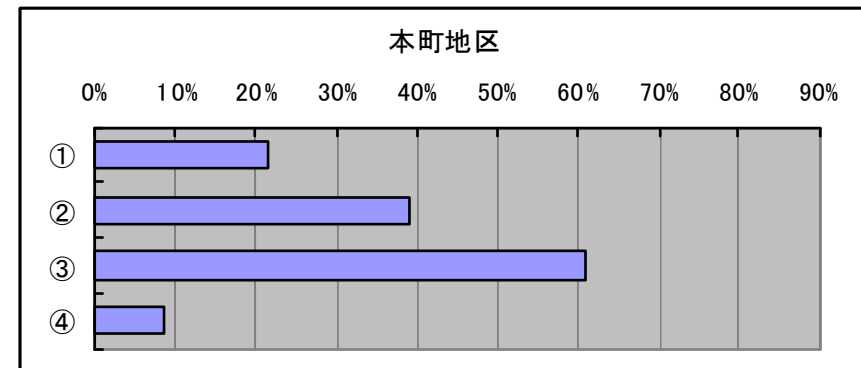
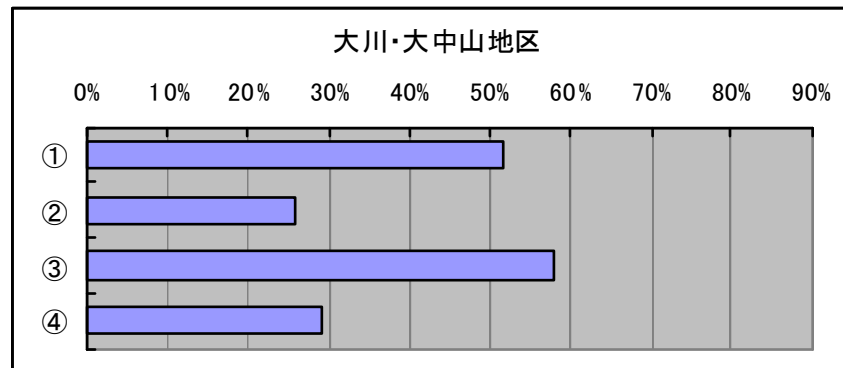
④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

3) 不支持(必要と思わない、導入すべきではない)の理由は？

- ・・・本町地区 自分自身が利用しないと答え方は低め。
- 大沼地区 自分自身が利用しないと答え方は高い。

地区別

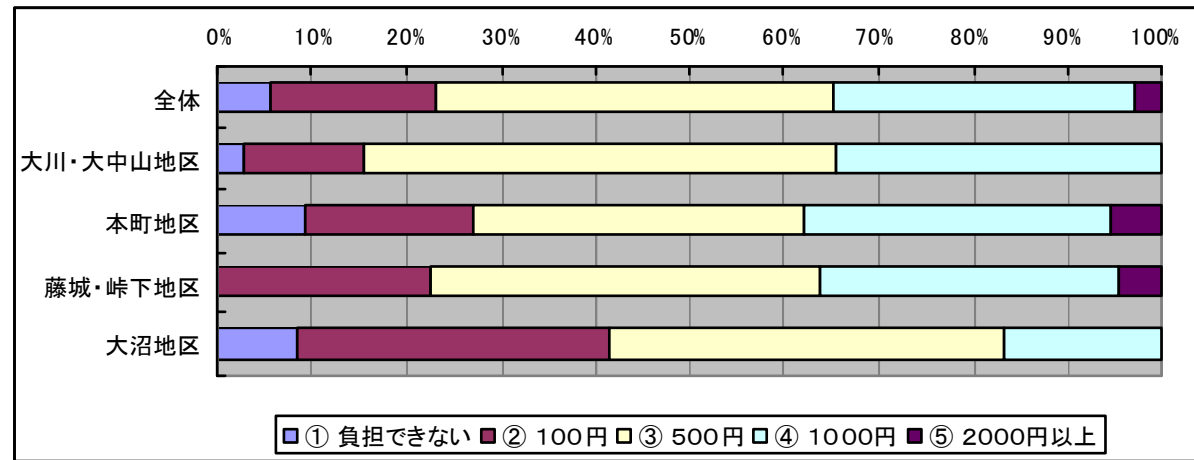


④若年層の理解と支援が必要

●20代、30代、40代の回答者(384人)を対象とした詳細分析

4) 費用負担に対する理解はどうか？

●支持派・・・1,000円までならある程度期待できる



●不支持派・・・負担できない方が7割弱いる。大沼地区は高め

